

やっぱり、特別養護老人ホームの整備は急務！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

特別養護老人ホーム入居対象者

区 分	R5.3月現在入居者申込数	うち在宅待機者	
		うち早期 に入所が 必要な者	
盛岡市	499人	157人	105人
盛岡圏域(盛岡市も含む)	1,002人	266人	162人
奥州市	554人	237人	119人

岩手県ホームページより作成

岩手県は、「特別養護老人ホーム入所待機者数及び第8期計画期間の開設計見込み」と題して、県内の入所待機者等の数を公表しました。令和5年3月時点の特別養護老人ホームの入所待機者数でも、奥州市の待機者数が、市町村別で最多になっていることが改めて示されました。

日本共産党奥州市議団は、特別養護老人ホームの待機者数が県内で最多になっていること、中でも「早期に入所が必要な者」が盛岡市より多くなっている状況は、介

護保険法第2条に定める「介護保険は、被保険者の要介護状態又は要支援状態(以下「要介護状態等」という。)に関し、必要な保険給付を行うものとする。」に反しており、特別養護老人ホームの整備を保険者である市の責任で進める必要があると訴えてきました。

6月定例会

人口比で特養ベット数は
盛岡より多い

倉成淳市長は、「早期入所が必要なる」とされる在宅入所者数が盛岡市より多くなっている問題について、「正確に比較」する必要があるとの見解を示していました。

そして、「特養ベット数で比較」すると、一ベッド当たり盛岡市は51人、奥州市は39人で、ベッド数ではかなり確保している。実態をしっかりと把握する必要があると回答していました。

9月決算審査委員会

入居待機者の実態を
再調査している

担当者は、第8期(令和3年度から令和5年度)の特別養護老人ホーム整備計画では、物価高騰等の事情で70床が見送りとなり待機者の解消は見込めないと説明しました。

そのうえで、今年は第9期(令和6年度から令和8年度)の計画を策定する年で、岩手県から待機者について「精査する」とを求められており、令和4年より「増加しない待機者数が見込まれる」と考えているとの見解を示しました。

「早急に入所が必要な者」
大幅に減るも、

尚、県内市町村で最多！

待機者の実態を「精査した」結果、入所申込者は46人減、うち在宅での待機者数は29人減、そのうち「早期に入居が必要な者」は94人減となっています。

「精査する」ことの妥当性はともかく、「早期に入所が必要な者」は大幅に減少しました。それでも尚県内最多であることには変わりありません。

改めて、特別養護老人ホームの整備が求められています。



日本共産党
参議院議員
紙とも子

10月17日

北海道党の予算要望の 政府交渉

今日から北海道党の予算要望の政府交渉が始まりました。はたやま和也元衆議院議員、丸山はるみ道

議会議員、おぎう和敏国會議員、たつの広志9区国政対策委員長、いわぶち友参議院議員と私も参加し、農林水産省、厚生労働省、内閣府、こども家庭庁、文部科学省、防衛省、国土交通省、総務省への要請を行います。



Facebookより

した。農林水産省宮下一郎農林水産大臣あてに4項目を要請しました。武村展英(のぶひで)副大臣が対応して下さいました。明日は財務省、経済産業省、環境省、外務省、厚生労働省への要請を行います。

定例の朝宣伝！

千田みつ子(日本共産党奥州市委員会委員長・元県議)と水沢の各支部の党員の皆さんは、毎週火曜日朝、みずさわ観光物産館交差点で朝宣伝に取り組んでいます。



17日は、日本共産党が提唱している「経済再生プラン」を紹介しながら、暮らし応援の政治を実現しようと呼びかけました。通勤途上の歩行者や車から応援を受けながらの訴えとなりました。